

ごあいさつ

文教大学教育研究所

所長 平 沢 茂

本研究所の紀要は、第6号より、特集形式を取り入れた編集を行って参りました。教育に関する課題が山積する中、課題の解明と解決への糸口を求めてのことです。

同時に、主として客員研究員による教育に関する基礎的研究論文の紹介にも努めて参りました。専任教員による研究論文の掲載については、別に教育学部の紀要があることを考慮した結果です。

本号では、新しい試みとして、学内事務系職員の修士論文を紹介することといたしました（特集Ⅱ）。学内には、大学院に入学し、自らの職務に関わる研究に取り組み、学位（修士）を取得した職員がいます。中には、博士の学位を取得した職員もいます。ところが、そうした職員の業績が学内で知られることが少なかったように思います。掲載された論文をご覧いただくと、真摯な研究成果を読み取っていただくことができると思います。

特集Ⅰは、滅亡の危機に立つ人類の課題である「環境」に焦点を当てました。

一説では、「人類は2030年頃に滅亡の可能性がある」との観測もあります。環境教育が重要課題であることは間違いありません。

この紀要が、お読みいただく方々の教育研究や実践に役立てていただけることを願っております。

2008年12月